

ここからは、利用者から育児休業制度を利用したいという申し出を受けた当時の管理者の方がご記入ください。

Q 1 あなたが所属される企業の所在都道府県をお答えください。

都・道・府・県

Q 2 業種をお答えください。(は1つ)

- | | | |
|--------------|------------------|----------|
| 1. 鉱業 | 2. 建設業 | |
| 3. 製造業 | 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | |
| 5. 運輸・通信業 | 6. 卸売・小売業、飲食店 | |
| 7. 金融・保険業 | 8. 不動産 | 9. サービス業 |
| 10. その他(具体的に | |) |

Q 3 従業員数をお答えください。正社員についてのみ、お答えください。(は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 100～300人未満 | 2. 300～500人未満 |
| 3. 500～1000人未満 | 4. 1000人以上 |

利用者が育児休業制度を利用したいと申し出た当時のあなたの職場(課相当)についてお尋ねします。

Q 4 当時のあなたの職場(課相当)の従業員数をお答えください。正社員についてのみお答えください。(は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～4人 | 2. 5～9人 | 3. 10～19人 |
| 4. 20～29人 | 5. 30～49人 | 6. 50人以上 |

Q 5 当時の職場の従業員の女性比率をお答えください。正社員についてのみお答えください。(は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1割未満 | 2. 1～3割未満 | 3. 3～5割未満 |
| 4. 5～7割未満 | 5. 7～9割未満 | 6. 9割以上 |

Q 6 当時の職場に、正社員以外(パート・アルバイト等)はいましたか。(は1つ)

- | | |
|-------|----------|
| 1. いた | 2. いなかった |
|-------|----------|

(Q 6 で 1 と回答した方にお尋ねします。)

SQ どれくらい的人数がいましたか。(は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| 1. 正社員と同じくらい | 2. 正社員よりも多かった | 3. 正社員よりも少なかった |
|--------------|---------------|----------------|

Q 7 当時の職場は、どの程度残業がありましたか。正社員についてのみお答えください。(は1つ)

- 1 . 恒常的に残業があった
- 2 . 週に数日は残業があった
- 3 . おおむね定時退社していた
- 4 . 職員間の残業時間の格差が大きかった
- 5 . 時期によって残業時間の格差が大きかった
- 6 . その他(具体的に)

Q 8 当時の職場ではフレックス制は導入されていましたか。正社員についてのみお答えください。(は1つ)

- 1 . 導入されていた
- 2 . 導入されていなかった

利用者の育児休業制度の利用についてお尋ねします。

あなたが、はじめて利用者から育児休業制度を利用したいと聞いてから、利用開始にいたるまでについて、お尋ねします。

Q 9 はじめて利用者から育児休業制度を利用したいと聞いたのは、実際に利用を開始するどれくらい前でしたか。(は1つ)

- 1 . 1年以上前
- 2 . 半年以上前
- 3 . 3～5か月前
- 4 . 1～2か月
- 5 . 1か月を切っていた

Q 10 それまでにあなたご自身または周囲の方で、育児休業制度を利用した人がいましたか。(は1つ)

- 1 . いた
- 2 . いなかった

(Q 10 で1と回答した方にお尋ねします。)

SQ 具体的に利用した方をお答えください。(はいくつでも)

- 1 . あなたご自身
- 2 . あなたの配偶者
- 3 . 同じ職場の同僚
- 4 . 部下
- 5 . 上司
- 6 . その他(具体的に)

Q 11 はじめて利用者から育児休業制度を利用したいと聞いた時、あなたは会社の育児休業制度について知っていましたか。(は1つ)

- 1 . 内容も含め、よく知っていた
- 2 . 聞いたことはあったが、内容まではよく知らなかった
- 3 . 聞いたことがなかった
- 4 . その他(具体的に)

Q 12 その時、あなたは、どのように感じましたか。(は1つ)

- 1 . 制度の利用を積極的にすすめたいと思った
- 2 . できれば利用して欲しくないと思った
- 3 . その他(具体的に)
- 4 . 特に何も感じなかった

Q13 当時、利用者が担当していた仕事の特徴は、次のどれに近かったですか。(は1つ)

1. 専門性が高く、代わりの者を見つけることは難しい
2. 定型業務なので、代わりの者を見つけるのは難しくない
3. もともと複数でやっている仕事なので、1人がいなくなっても何とかなる
4. その他(具体的に)

Q14 あなたは、利用者の育児休業制度の利用にあたって、どのようなことをしましたか。(はいくつでも)

1. 本人の意思や希望をよく確認した
2. 本人に制度利用後の処遇の取り扱いについて情報提供した
3. 休業中の給付金の支給など制度の内容について情報提供した
4. 休業までの仕事の量の調整や引継ぎなどを行った
5. 制度利用中の仕事の人員配置や進め方について検討した
6. 自分の上司に相談した
7. 利用者の同僚等の理解を得るために説明などを行った
8. その他(具体的に)
9. 特に何もしなかった

育児休業制度の利用中について、お尋ねします。

Q15 開始時期や終了時期などについて、仕事等の都合で利用者の申し出を変更してもらったことがありますか。(は1つ)

1. あった
2. なかった

Q16 利用期間の長さは、利用者の希望の通りでしたか。(は1つ)

1. 利用者の希望の通りであった
2. 利用者の希望よりも長かった
3. 利用者の希望よりも短かった
4. その他(具体的に)

Q17 当時の利用者の仕事は、どのように引き継ぎましたか。(はいくつでも)

1. 職場のチーム全体で引き継いだ
2. 職場にいる特定の個人(正社員)に引き継いだ
3. 他部門からの異動(正社員)によって引き継いだ
4. パートや派遣社員を配置して引き継いだ
5. 職場の仕事量を人員に合わせて減らした
6. 外注した
7. その他(具体的に)

SQ17-1 Q17で2または3に をつけた方にうかがいます。

仕事は、どのような人が引き継ぎましたか。(は1つ)

1. 利用者と同じくらいの職級の人
2. 利用者よりも職級が下の人
3. 利用者よりも職級が上の人

SQ17-2 Q17で4に をつけた方にうかがいます。パートや派遣職員は、新規に雇用した人ですか。(は1つ)

1. 新規に雇用した人 2. 職場にもともといた人

Q18 その他、利用者の制度利用期間中、職場で対応したことをお答えください。(はいくつでも)

1. 利用者が円滑に職場復帰できるよう、随時、情報提供等を行った
 2. 復帰に向けて相談を行った
 3. 復帰に向けて教育訓練を行った
 4. その他(具体的に)
 5. 特に何もしなかった

Q19 周囲の方々は、協力的でしたか。(それぞれ は1つずつ)

	非常に協力的であった	どちらかと言うと協力的であった	どちらとも言えない	どちらかと言うと協力的でなかった	協力的でなかった
自分の上司	1	2	3	4	5
利用者の同僚	1	2	3	4	5
人事部門・福利厚生部門	1	2	3	4	5

育児休業制度の利用終了後について、お尋ねします。

Q20 利用者は、原職に復帰しましたか。(はいくつでも)

1. もとの職場のもとの仕事に戻った
 2. もとの職場の違う仕事に戻った
 3. もとの職場とは違う職場に戻った
 4. その他(具体的に)

Q21 復帰後の利用者の仕事のスキル(技能・能力等)は、制度利用前に比べてどのようですか。(は1つ)

1. 制度利用前に比べて上がった
 2. 制度利用前と同じくらい
 3. 制度利用前に比べて下がった
 4. その他(具体的に)

(Q21 で3と回答した方にお尋ねします。)

SQ 利用者の仕事のスキル(技能・能力等)が制度利用前に戻るのに、どのくらい時間がかかりそうですか(または、かかりましたか)。(は1つ)

()年()か月かかりそうである(または、かかった)

Q22 あなたは、社員が育児休業制度を利用することについて、どのようにお考えですか。(それぞれ は1つずつ)

	賛成である	どちらかと言うと賛成である	どちらとも言えない	どちらかと言うと反対である	反対である
女性社員が利用する場合	1	2	3	4	5
男性社員が利用する場合	1	2	3	4	5

利用者が「育児のための勤務時間短縮制度」を利用した管理者の方にお尋ねします。

はじめて勤務時間短縮制度を利用したいと聞いてから、利用開始にいたるまでについて、お尋ねします。

Q23 はじめて利用者から勤務時間短縮制度を利用したいと聞いたのは、いつでしたか。(は1つ)

1. 育児休業制度の利用希望を聞いたのと同じ時
2. 育児休業に入る前
3. 育児休業中
4. 育児休業終了後
5. その他(具体的に)

Q24 はじめて利用者から勤務時間短縮制度を利用したいと聞いた時、あなたは会社の勤務時間短縮制度のことを知っていましたか。(は1つ)

1. 内容も含め、よく知っていた
2. 聞いたことはあったが、内容まではよく知らなかった
3. 聞いたことがなかった
4. その他(具体的に)

Q25 あなたは、利用者の勤務時間短縮制度の利用にあたって、どのようなことをしましたか。(はいくつでも)

1. 本人の意思や希望をよく確認した
2. 本人に制度利用後の処遇の取り扱いについて情報提供した
3. 制度利用中の仕事の量の調整や引継ぎなどを行った
4. 制度利用中の仕事の人員配置や進め方について検討した
5. 自分の上司に相談した
6. 利用者の同僚等の理解を得るために説明などを行った
7. その他(具体的に)
8. 特に何もしなかった

勤務時間短縮制度の利用中について、お尋ねします。

Q26 利用者は、勤務時間短縮制度を利用して、どのような働き方をしましたか。(はいくつでも)

1. 1日当りの就業時間を短くした ()時間/日を()時間/日にした
2. 就業日数を少なくした ()日/週を()日/週にした

(Q26で「1. 1日当りの就業時間を短くした」と回答した方にお尋ねします。)

Q27 就業時間の長さは、利用者の希望の通りでしたか。(は1つ)

1. 利用者の希望の通りであった
2. 利用者の希望よりも長かった 利用者の希望は()時間()分
3. 利用者の希望よりも短かった 利用者の希望は()時間()分
4. その他(具体的に)

(Q27で2と回答した方にお尋ねします。)

SQ 希望よりも長い就業時間にするために、あなたは利用者にもどのような説明をしましたか。(はいくつでも)

1. 仕事の量を減らすことができないことを訴えた
2. 代わりの者がおらず、仕事を進める上で困ることを訴えた
3. 仕事のペースを落とすとその後の昇給や昇格に影響することを説明した
4. 同僚など周囲の者の反発が大きいことを説明した
5. その他(具体的に)
6. 特に何も説明しなかった

(Q26で「2.就業日数を少なくした」と回答した方にお尋ねします。)

Q28 就業日数は、利用者の希望の通りでしたか。(はい1つ)

1. 利用者の希望の通りであった
2. 利用者の希望よりも多かった 利用者の希望は()日/週
3. 利用者の希望よりも少なかった 利用者の希望は()日/週
4. その他(具体的に)

(Q28で2と回答した方にお尋ねします。)

SQ 希望よりも多い就業日数にするために、あなたは利用者にもどのような説明をしましたか。(はいくつでも)

1. 仕事の量を減らすことができないことを訴えた
2. 代わりの者がおらず、仕事を進める上で困ることを訴えた
3. 仕事のペースを落とすとその後の昇給や昇格に影響することを説明した
4. 同僚など周囲の者の反発が大きいことを説明した
5. その他(具体的に)
6. 特に何も説明しなかった

Q29 制度利用期間中、利用者の仕事に変化はありましたか。(はいくつでも)

3. 職場のチーム全体で引き継いだ
4. 職場にいる特定の個人(正社員)に引き継いだ
3. 他部門からの異動(正社員)によって引き継いだ
4. パートや派遣社員を配置して引き継いだ
5. 職場の仕事量を人員に合わせて減らした
6. 外注した
7. その他(具体的に)

SQ17-1 Q17で2または3に をつけた方にうかがいます。

仕事は、どのような人が引き継ぎましたか。(はい1つ)

1. 利用者と同じくらいの職級の人
2. 利用者よりも職級が下の人
3. 利用者よりも職級が上の人

SQ17-2 Q17で4に をつけた方にうかがいます。パートや派遣職員は、新規に雇用した人ですか。(はい1つ)

1. 新規に雇用した人
2. 職場にもともといた人

Q30 その他、利用者の制度利用期間中、職場で対応したことをお答えください。(はいくつでも)

1. 利用者が円滑に職場復帰できるよう、随時、情報提供等を行った
2. 制度利用終了に向けて相談を行った
3. 制度利用終了に向けて教育訓練を行った
4. その他(具体的に _____)
5. 特に何もしなかった

Q31 周囲の方々は、協力的でしたか。(それぞれ は1つずつ)

	非常に協力的であった	どちらかと言うと協力的であった	どちらとも言えない	どちらかと言うと協力的でなかった	協力的でなかった
自分の上司	1	2	3	4	5
利用者の同僚	1	2	3	4	5
人事部門・福利厚生部門	1	2	3	4	5

Q32 管理者の立場として、勤務時間短縮制度の利用についてどのようにお考えですか。(はいくつでも)

1. 1日当りの就業時間を短くする方法で、(_____)時間/日ぐらいがよい
2. 就業日数を少なくする方法で、(_____)日/週ぐらいがよい
3. いずれの方法でもできれば利用して欲しくない
4. その他(具体的に _____)

利用者が「育児休業制度」や「育児による勤務時間短縮制度」を利用したことによる影響・効果について、お尋ねします。

Q33 あなたご自身に対し、どのような影響・効果がありましたか。(はいくつでも)

1. 管理職として仕事の進め方について見直すきっかけになった
2. 利用者やその同僚等と話し合いをもつきっかけになった
3. 上の者や人事部門等と人事管理について話し合うきっかけになった
4. 自分自身の仕事と家庭生活について考えるきっかけになった
5. 職場でのマネジメントが難しくなった
6. 管理的業務が増えた
7. その他(具体的に)
8. 特に影響・効果はなかった

Q34 あなたからみて、利用者本人に対し、どのような影響・効果があったと思われますか。(はいくつでも)

1. キャリアに支障なく仕事と育児を両立することができた
2. 会社に対する愛着が深まった
3. 同僚など周囲の者に対する信頼が深くなった
4. 仕事に対する熱意が高まった
5. 職場での評価が低くなった
6. 職場で孤立するようになった
7. その他(具体的に)
8. 特に影響・効果はなかった

Q35 あなたからみて、利用者の同僚など周囲の者に対し、どのような影響・効果があったと思われますか。(はいくつでも)

1. それぞれの能力をあげる機会となった
2. 職場の結束が高まった
3. それぞれの会社に対する愛着が深まった
4. それぞれが自分の働き方について見直すきっかけとなった
5. 会社の対応に対し反発が生じた
6. それぞれの仕事に対する意欲が低下した
7. その他(具体的に)
8. 特に影響・効果はなかった

Q36 あなたからみて、企業や部門全体に対し、どのような影響・効果があったと思われますか。(はいくつでも)

1. 社員の人事管理について見直すきっかけとなった
2. 社員の子育て支援に対する企業の社会的責任について考えるきっかけとなった
3. 企業のイメージをあげることができた
4. 社員の企業への愛着を深めることができた
5. 職場で社員の間不公平感が生じた
6. 会社全体の生産性が下がった
7. その他(具体的に)
8. 特に影響・効果はなかった

企業における社員の子育て支援について、お尋ねします。

Q37 あなたは企業が社員の子育てを支援する理由について、どのように考えですか。(はいくつでも)

1. 法律で定められているから
2. 人材の確保・定着のために必要だから
3. 社員からの要望があるから
4. 福利厚生として
5. 企業イメージの向上のため
6. 企業の社会的責任として
7. 社員のストレスが減り、生産性向上につながるから
8. その他(具体的に)
9. 特に理由はない

Q38 企業が社員の子育て支援を進めるにあたっての問題点をお答えください。(はいくつでも)

1. 経営環境が厳しく、社員の子育て支援をする余裕がない
2. 社員が何を求めているのかわからない
3. 子どもがいる社員のみを優遇することに対し他の社員からの反発がある
4. 社員数が少ないので、支援メニューをそろえることができない
5. その他(具体的に)
6. 特に問題点はない

Q39 企業が社員の子育てと仕事の両立を促進するために必要と思われるものをお答えください。(はいくつでも)

1. 制度の充実
2. 利用者の意識向上
3. 管理者に対する研修
4. 調整担当者・セクションの設置
5. 定期的な労使間の話し合いの機会
6. 定期的なニーズ調査
7. その他(具体的に)
8. 特に必要なものはない

Q40 では、企業が社員の子育てと仕事の両立を促進するために、国や自治体など行政に期待するものをお答えください。(はいくつでも)

1. 子育て支援に積極的な企業の表彰制度
2. 企業の子育て支援の取り組みが一定水準以上か認定する制度
3. 仕事と子育ての両立支援策に関する情報紙もしくはHP
4. 企業や個人が仕事と子育ての両立に関して相談できる窓口
5. 各企業の子育て支援の状況が一覧・比較できる情報紙もしくはHP
6. 企業の子育て支援に関する苦情などを受け取る専門機関
7. 企業の人事・福利厚生担当者のネットワーク組織
8. 子育てしながら働く人のネットワーク組織
9. 企業の管理職向けの子育て支援に関する研修会
10. 制度利用者の教育訓練に取り組む企業に対する助成制度
11. その他(具体的に)
12. 特に期待することはない

(Q46で1と回答した方)

SQ 当時の配偶者・パートナーの方の就労形態をお答えください。(は1つ)

1. 勤め人(正社員) 2. 勤め人(正社員以外) 3. 自営業
4. 在宅就労 5. その他(具体的に)

Q47 次にあげることがらについて、あなたご自身のご意見をお答えください。(それぞれ は1つずつ)

	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない
女性は、子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	1	2	3	4	5
夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
男性も家事・育児に参加すべきである	1	2	3	4	5
今後、男性が子育てや教育などに参画して、家庭生活を充実し、家庭と仕事の両立を図るためには、これまでの企業や仕事中心のライフスタイルを変える方がよい	1	2	3	4	5
企業は社員の子育てを支援する責任がある	1	2	3	4	5

Q48 最後に、仕事と家庭の両立支援について、企業や行政に対する意見・要望等ありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。返信用封筒に入れ、 月 日()までにご投函ください。